



豊 クラリネット 2本を寄贈 かな音を響かせて

公益財団法人日本厚生文化振興財団の社会貢献活動の一環として3月9日、浜岡中学校と御前崎中学校にクラリネットが1本ずつ寄贈されました。

石原市長は「素晴らしい物を寄贈していただき、ありがたい。大切にに使わせていただきたい。あたたかい気持ちに感謝する」と話し、齋藤哲夫理事長は「全国の中学校に1つでも楽器を贈れるよう、今後も活動を続けていきたい」と思いを述べました。



次 浜岡中・御前崎中表敬訪問 大会への抱負を語る

ソフトボールで県選抜に選ばれ、全国大会へ出場する浜岡中2年の塚本楓花さんと、新人戦で東海大会出場を決めた浜岡中男子バレーボール部員13人、県大会優勝により東日本大会へ出場する御前崎中剣道部の女子部員7人が3月13日、市役所を訪れ、それぞれの大会へ向けた意気込みを語りました。石原市長は「練習の成果を発揮して、素晴らしい結果を出せるよう頑張ってください」と激励しました。

地 11分団の新詰所完成 地域の防災拠点として

御前崎市消防団第11分団詰所が完成し3月19日、落成式が行われ、市や消防団、地元関係者が完成を祝いました。石原市長は「消防防災体制の中核を担う消防団には市民の安全・安心のため日頃の訓練や予防消防に努めてほしい」と述べました。伊藤団長は「消防団を取り巻く環境は年々厳しくなっているが、団員一丸となり予防消防に務め、市民の安全・安心のために頑張ってもらいたい」と話しました。



市 きらり輝く未来のために の現状を考える

総合計画に職員全員が携わり、一人一人が課を越えて市の将来都市像や10年後の御前崎市がどうあるべきかを考えるため、市役所職員を対象にワークショップを開催しています。3月17日には中堅職員のワークショップを開催しました。

講師に早稲田大学マニフェスト研究所の中村健氏を招き、参加者はグループごと、より良い御前崎市にするためのアイデアを出し合い発表しました。